

平成22年度事業報告について

I はじめに

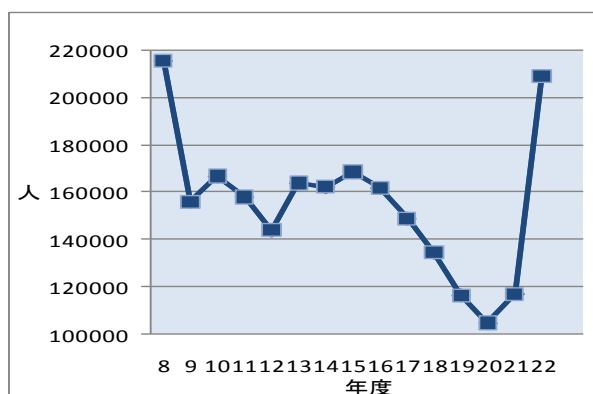
当財団は、伝統産業の振興を目的に平成8年7月に設立され、開館当初より、京都の伝統産業品を一堂に集め、市民や観光客に体系的に紹介する国内でも有数の展示場である「京都伝統産業ふれあい館」の運営を京都市から受託している。

これまでふれあい館の来館者数は長期的な減少傾向にあったが、平成21年度の来館者数は前年度比11.8%、平成22年度は前年度比82.5%に増加するなど2年連続で前年度を上回ることができた。

これは、テレビ等のメディアを利用し「ふれあい館」をPRしたこと、京都市内のホテルや旅館をまわり営業活動を行ったこと、京都市勧業館「みやこめっせ」や京都会館の催事ごとにチラシを配布し、人々を誘導したこと、また「英語版ホームページの開設」をはじめとする外国人集客の取組や団体観光客及び修学旅行生への積極的なアプローチなど様々な対策をおこなったことが主な要因であるが、なかでも平成21年度から行っている職人さんの実演と舞妓さんの舞を披露する「匠と舞」事業のPRの成果が実り、当事業が広く周知されたことが理由に挙げられる。

今後もふれあい館の来館者数のさらなる拡大に向けて、魅力の向上と広報宣伝活動の充実に取り組んでいく。

<来館者数の推移>



<来館者数：月別>

年 月	平成22年度 来館者数(人)	平成21年度 来館者数(人)	前年度比 (%)
4月	15,467	8,046	+92.2%
5月	18,601	7,729	+140.7%
6月	16,464	6,619	+148.7%
7月	14,963	10,490	+42.6%
8月	16,997	10,835	+56.9%
9月	15,764	10,187	+54.7%
10月	20,123	13,891	+44.9%
11月	21,080	13,575	+55.3%
12月	17,253	5,978	+188.6%
1月	23,938	7,215	+231.8%
2月	14,895	7,898	+88.6%
3月	17,850	14,464	+23.4%
小計	213,395	116,927	+82.5%

<来館者数：年度別>

年度	来館者数 (人)	前年度比 (%)
18年度	134,457	-9.6%
19年度	116,331	-13.5%
20年度	104,601	-10.1%
21年度	116,927	+11.8%
22年度	213,395	+82.5%

II 事業

1 常設展示事業

常設展示場において、展示の魅力向上及び入館者へのサービス向上のため以下の取組を実施した。

- ① 常設展示場内で実施している「匠と舞」事業の伝統産業職人の実演の様子をDVDにて記録撮影し、常設展示場内にて、放映した。
(平成23年3月25日から実施)
業種：京象嵌・京版画・金属工芸・京竹工芸
- ② 業界団体の協力を得て、前年度に引き続き、四季折々の魅力ある展示替えに努めた。平成22年度は125回803点の展示替えを行った。
(平成21年度は115回812点)
- ③ 京都検定合格者で組織するNPO法人「京都観光文化を考える会 都草」(延べ人数約100人)の協力を得て、伝統産業の背景となる京都の文化や歴史について、来館者に対し解説を行った。
- ④ 「伝統産業の日2011」期間中に、業界団体の協力の下、「伝統工芸ミニセミナー」を開催し、業界団体の方の解説と職人さんの実演を実施した。
(伝統工芸ミニセミナー)
3月19日(土) 京象嵌 中村 正勝(協同組合京象嵌協会所属)
3月20日(日) 京仏具 渡邊 宗男(京都府仏具協同組合所属)
3月21日(月・祝) 京漆器 遊部 尋志(京都漆器工芸協同組合理事長)



写真) 伝統工芸ミニセミナー 京仏具(左)、京漆器(右)

2 企画事業

(1) ギャラリー

- ① 「京陶人形美展」や「現代に生きる陶磁器展」など、業界団体の協力による企画展示を実施した。今後も広報・宣伝活動を行うことにより、ふれあい館ギャラリーの認知度を高めていく。

〈参考〉ギャラリー取材件数

年度	テレビ	しんぶん	ラジオ	その他
22年度	9件	11件	0件	7件
21年度	6件	18件	2件	9件

- ② 京都市博物館ボランティア制度（延べ人数184人）を活用し、ギャラリー展示品の紹介や来館者とのコミュニケーションに努めた。



写真) 「現代を創る金属工芸美展」(左)、「現代に生きる陶磁器展」(右)

(2) イベントルーム

当財団主催の企画や関連業界団体との共催事業、常設展示場との相乗効果が期待できる展示会、体験教室等を24回・延べ94日実施した。



写真) 京都市本友禅技術者研修同窓会「フラート展」(左)、「京象嵌伝統工芸展示会」(右)

3 普及啓発事業

(1) 体験・実演事業

① 摺型友禅染体験教室

平日は予約制により修学旅行生を中心に受け入れ、土日祝日は、家族連れや少人数グループを随時受け入れている。平成21年度は5月、6月に新型インフルエンザの影響を受け、前年度の参加者数を大きく下回ったが、平成22年度は例年並みの参加者数を見込めた。

(年度別参加人数内訳)

	参加者数 (人)	前年度比 (%)
20年度	4,741	-13%
21年度	3,941	-17%
22年度	4,471	+13%

② 夏休み親子体験教室や京繡教室の実施

- ・夏休み親子体験教室 (陶磁器絵付け体験)
開催回数 6回、参加者数104人
- ・京繡教室 (春・秋)
開催回数 4回、参加者数123人



写真) 秋の京繡教室 (左)、夏休み親子体験教室 (陶磁器絵付け) (右)

③ 旅行エージェント270箇所に対し、ふれあい館のパンフレットを送付し、団体客の送客依頼を行った。

④ イベントルームを活用して京繡体験教室参加者の作品を展示し、優秀作品に表彰状を贈呈した。

作品展開催 2回 出展作品63点

(2) 講演会事業

伝統産業・伝統文化への理解を深めてもらうことを目的に、全3回のセミナーを開催した。

第1回 平成23年2月27日(日)「茶道文化と伝統産業」

講師 鎌塚 宏子氏 (裏千家茶道資料館学芸員)

参加者 131名(当日参加含む)

事前申込 167名

第2回 平成23年3月13日(日)「私だけのテーブルウェア」

講師 湯浅 靖代 (食空間コーディネーター)

参加者 48名

事前申込 101名

第3回 平成22年3月19日(土)～21日(月・休)

「ふれあい館ミニセミナー」

講師 業界団体(P2常設展示事業 再掲)

参加者 80名



写真) ふれあい館セミナーの様子

4 広報広聴事業

(1) 広報宣伝活動

ふれあい館を周知し、より多くの方に来館していただけるよう、以下の取組を実施した。

ア「匠と舞」事業の広報PR

- ① 京都市観光協会、市内の主要ホテル、JR東海京都観光コーナー(東京、品川、新横浜、静岡、浜松)にてチラシを配布した。
- ② アメリカやオーストラリアなど京都市観光部所管の京都市海外情報拠点にてチラシを配布した。

イ 修学旅行・市内小学校からの誘客の取組

- ① 修学旅行で京都を訪問されている県の小学校長に案内状を送付した。

- ② 京都市観光協会に対し、修学旅行相談所での教師向けの周知を依頼した。
- ③ 京都修学旅行生ナビへの掲載のほか、修学旅行パスポート事業へ参画した。
- ④ 市内の全小学校にふれあい館のチラシを配布し、課外学習での利用を依頼した。
また、「わたしたちの伝統産業」（小学校４年生社会科副読本）を市立小学校へ送付する際にもふれあい館のパフレット、匠と舞のチラシを同封した。

ウ 外国人観光客集客の取組

- ① 平成21年5月に英語版HPを開設し、外国人への情報提供を充実させた。
(サイトアクセス数 2,518件)
- ② 市内主要ホテルを定期的に訪問し、英語版チラシの配布と送客の依頼を行った。
- ③ 英語版京都フリーウォークサイト
京都フリーウォークサイトにて携帯型音楽プレーヤーに伝統産業5業種（西陣織、京友禅、京仏壇・仏具、京漆器、京焼・清水焼）を英語で紹介し、携帯型音楽プレーヤーにダウンロードできる音声ガイドシステムを構築した。
(ダウンロード実績 107,459件)

エ その他の取組

- ① 観光客をターゲットに、JR京都駅にふれあい館PRポスター、「匠と舞」事業のポスターを掲示した。
- ② 当館のチラシや当館が掲載されているマップを、ホテル・旅館・エージェント等に配布した。
- ③ テレビ・新聞等マスメディアへ積極的な掲載依頼及び取材協力依頼を行った。
- ④ 勧業館はもとより、京都会館など岡崎周辺の文化施設等での大規模催事の際に、チラシの配布等により、ふれあい館へ誘導した。
- ⑤ 「伝統産業の日2011」のガイドブックにふれあい館の広告を掲載した。

(2) 広聴活動

- ① 修学旅行生や各種団体の見学・体験コーナー参加者の学校、旅行会社に対しアンケート調査を実施
回答数 35人
内訳 大変良かった・良かった 34人
普通 1人
主な要望・苦情
・写真が撮れない
・展示物の説明をもう少し詳細に
- ② ご意見承り箱の設置（ギャラリー及び展示場に設置）
回答数 172人
内訳 良かった・感動した 134人
要望・苦情 38人
主な要望・苦情

- ・もっと真近で見たい
- ・もっとPRしたら良い

③ ホームページ上でご意見等をメールにて受付
件数 35件

主な意見

職人さんの技に感動した	18件
舞妓さんが身近に見られてよかった	10件
展示品を取り扱っているところを知りたい	4件
その他	3件

④ 伝統産業の日に実施した体験教室参加者に対するアンケート調査

回答数 83人 ※重複回答者有

内訳	楽しかった	78人
	難しかった	5人
	簡単だった	3人

※ 要望・苦情については、ふれあい館をより良い施設にするための貴重な意見であり、可能な限り対応を検討していく。

5 ～光る技、伝統が舞う～「匠と舞」事業

地域における雇用機会の創出と将来の需要開拓に向けた取組の実施を図るため、国の緊急雇用対策交付金を活用し、京都市からの受託事業として、平成21年6月より「匠と舞」事業を実施している。

常設展示場において職人さんによる伝統工芸品の製作実演を行うとともに、歩く伝統産業ともいえる舞妓さんによる舞台を披露し、ふれあい館への集客や伝統産業の積極的なPRを図った。

(1) 匠による製作実演

月曜を除く毎日（祝日に当たる場合は実施）、伝統工芸品の製作実演を行い、来館者が製作工程に触れ、職人さんとの会話を楽しんでいただいた。この事業を開始してからは、伝統工芸品をゆっくりと時間をかけて見学される方が増えた。

来館者のリピーターが増え、展示品の見方が変わったと大変好評である。

(2) 製作体験

「私だけのテーブルウェア ～ワンランク上の食卓を」と題して平成22年9月から月1回のペースで7業種の伝統工芸品の体験教室を実施した。

延べ118人の参加者があり、思い出に残る作品が出来たと大変好評であった。

なお、3月13日には、全講座を受講頂いた8名に舞妓さんから修了書をお渡しする修了式を行った。



写真)「私だけのテーブルウェア〜ワンランク上の食卓を」
京象嵌(箸置き)製作の様子(左)、修了式(右)

(3) 舞妓の舞台

毎週日曜に、花街の舞妓さんによる舞台を行い、舞妓の衣装や装飾品に使われる各種の伝統産業品の解説などを通して、京都の花街や文化を支えてきた伝統産業を発信した。地方からの団体や外国人の来館者が大幅に増加した。



(写真：匠による製作実演を見学する舞妓さんの様子・製作実演の様子)

6 京の「匠」ふれあい事業

京の「匠」ふれあい事業は、京都市独自の雇用対策事業として、市民、観光客への伝統産業のPR及び不況で仕事が激減している伝統産業従事者の雇用創出を目的に実施しているもので、当財団では制度発足の平成17年度から事業を受託している。伝統産業従事者を講師や指導者として雇用し、伝統工芸の匠の技を生かした製作体験教室等を行い、参加者に伝統産業の技術に対する関心を深めていただいている。

なお、今年度は初めての試みとして、伝統産業職人の派遣事業を行い、より広範囲で職人さんの技術を御覧いただく機会を設けた。

<参考>

平成22年度は、以下の体験教室に係る指導者を延べ400人雇用した。

(P3普及啓発事業(1)①及び②に再掲)

- ・摺型友禅染体験教室
 - ・夏休み親子体験教室（陶器絵付体験）
 - ・京繡教室（春・秋）
- *参加者実績は、P 3、4を参照

<派遣事業>

延べ34人雇用した。

- ・主な派遣先　くるる五条坂、百々小学校（山科区）

7 雅遊び体験事業

平成22年8月から小中学生（学校等社会教育を行う団体等）を対象に、源氏物語に登場する平安時代の遊びである「盤双六」と「偏継」の貸し出しを実施した。

平成23年3月に京都新聞に掲載されたのをきっかけに問い合わせが増加した。

平成22年度　貸出実績　3件



(写真：盤双六を楽しむ様子)

8 伝統産業の日事業

「伝統産業の日」関連事業として、3月19日（土）～21日（月・休）の3日間、京都市勧業館みやこめっせ内にて「伝統産業の日 in みやこめっせーふれあい館まつり」を開催した。

メイン事業である「～京の伝統工芸・技の体験教室～」は、西陣織や京友禅をはじめとする伝統産業15業種の職人さんに協力を頂き、みやこめっせ大会議室にて体験教室を行った。

（主な催事内容）

事業名	参加者数
ふれあい館まつり ～京の伝統工芸・技の体験教室～	160人
ちよこっと体験（イベントルームにて）	130人
光る技・伝統が舞う～匠と舞～	5,500人
伝統工芸ミニセミナー（P2 常設展示事業④に再掲）	80人
ジュニア雅の遊び体験	90人



（写真：技の体験教室）

9 図書室利用状況

平成22年度の図書室の入室者は11,195人、貸出冊数については903冊であった。23年度は、より詳細な利用実態の把握に努め、蔵書が貴重な資料、財産であることを踏まえ、図書室の今後のあり方について検討を行う。

（利用状況）

年度	入室者（一日平均）	前年度比	貸出し冊数（一日平均）	前年度比
22年度	11,195人 (31人)	+18%	903冊 (2.5冊)	-17%
21年度	9,446人 (26人)	—	1090冊 (3冊)	—

Ⅲ その他

1 平成22年度正副理事長会及び理事会

(1) 正副理事長会の実施状況

平成22年5月26日(火)

平成23年3月18日(金)

(2) 理事会の実施状況

平成22年5月26日(第80回)

平成23年3月18日(第81回)

2 義援金について

東日本大震災発生直後は、全国的にイベントの中止や延期等の自粛ムードと合わせ、原発の影響が報道されるにつれ、外国人観光客の来館が目に見えて激減した。

その影響か、来館者数の月別の前年度比では、3月が年間で最も低い伸び率となっている。(P1 月別来館者数 参照)

第81回理事会にて議決された「東日本大震災で被災された伝統的工芸品の産地に対する義援金」については、下記のとおり。

1,400,000円(44団体, P12 参照)

当義援金については、雄勝硯及び大堀相馬焼の組合に対し各70万円を6月初旬に口座振込する。

(参考) 東日本大震災義援金 協力団体一覧

NO	組合名
1	京都ネクタイ協会
2	京都刺繍協同組合
3	清水焼団地協同組合
4	京都府仏具協同組合
5	(財)京都伝統建築技術協会
6	京都竹材商業協同組合
7	京都日吉製陶協同組合
8	京都佛像彫刻家協会
9	京都版画出版協同組合
10	京都薫香組合
11	京くみひも工業協同組合
12	京都誂友禅工業協同組合
13	西陣緋加工業組合
14	京都手描友禅協同組合
15	京都府石材業協同組合
16	京人形商工業協同組合
17	京瓦組合
18	京都市伝統工芸連絡懇話会
19	京都扇子団扇商工協同組合
20	京都金銀糸工業協同組合
21	京都黒染工業協同組合
22	京都金属工芸協同組合
23	京都美術象嵌組合
24	財団法人京都陶磁器協会
25	京都神祇工芸協同組合
26	京都府中小企業団体中央会
27	西陣意匠紋紙工業協同組合

NO	組合名
28	京都府造園協同組合
29	京都府象嵌振興会
30	京都漆器工芸協同組合
31	京菓子協同組合
32	京都色絵短冊共同組合
33	京友禅協同組合連合会
34	京都彩芸美術協同組合
35	京都工芸染匠協同組合
36	京都紋章工芸協同組合
37	京都伝統工芸士会
38	京鹿の子絞振興協同組合
39	京陶人形工芸協同組合
40	京染卸商業組合
41	京の伝統産業春秋会
42	西陣織工業組合
43	(株)京都産業振興センター
44	ふれあい館義援金箱 (イベントルーム京都仏 像彫刻展含む)